

平成31年度 適応指導教室スプリングポートのご案内

1 適応指導教室の趣旨

適応指導教室は、学校や集団生活に対する不安が強く、学校に行きたくても行けなくて悩んでいる子どもたちが、さまざまな活動をとおして元気を取り戻し、将来的に学校に復帰することや社会的に自立することを目的に指導・援助しています。

■スプリングポートとは「船出を準備する春の港」という意味です。

2 入室対象者

市内在住で、不登校の状態にある、小学4年生から中学3年生までの、次の要件を満たしている児童生徒。

- (1) 児童生徒本人・保護者が入室を希望している。
- (2) 校長が入室を適当であると認めている。
- (3) 教育委員会が入室を適当であると承認している。

3 開室日と開室時間

原則として各学期の月曜日～金曜日の、午前9時30分～午後3時に開室しますが、個々の入室生の通室曜日や時間帯は、支援コースや個人の状況により個別に設定します。なお、何月に入室しても入室期間はその年度の3月までです。

4 活動内容

- (1) 学習タイム：自習を基本とし、学習習慣の形成や、学習意欲を高める指導・助言をします。
- (2) 活動タイム：スタッフや他の通室生とともにスポーツやコミュニケーション活動を行い、集団の中で活動する力、表現する力を高める指導・助言をします。

<具体例>

スポーツ（卓球・バドミントン・キャッチボール・ソフトバレーボール）、ゲーム（囲碁・将棋・オセロ・トランプ）、創作（イラスト・手芸）、趣味（読書・楽器演奏）など

■行事：人、社会、自然と関わる体験活動をとおして学習意欲を高めるとともに、社会的自立を促します。（社会見学など）

5 2つの支援コース

適応指導教室は、入室相談・面談を通して子どもの状況を把握し、次の(1)または(2)の支援コースを決定します。コースは状況に応じて切りかえることがあります。

- (1) 個人支援Ⅰ・Ⅱ：スタッフとの個別の関わりを中心とし、他の通室生との関わりも図りながら力を高める。
- (2) グループ支援：他の通室生との関わりを中心とし、スタッフの支援を受けながら力を高める。

※新規入室生は、個人支援Ⅰからスタートします。

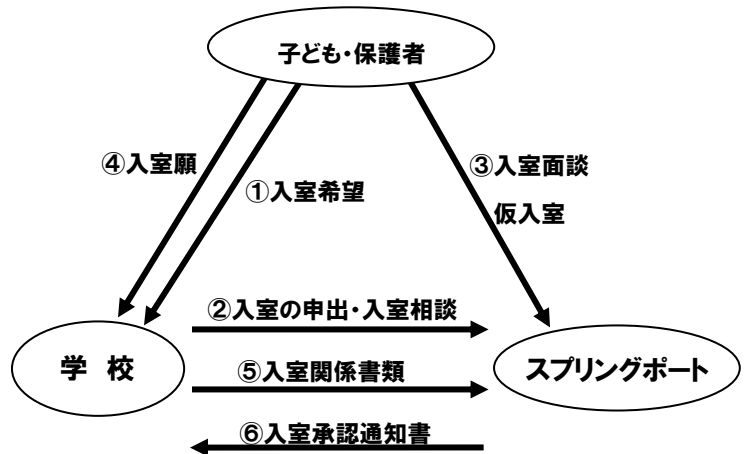
6 連携活動

保護者・学校と、学校復帰や社会的自立に向けた子どもへの関わり方について共通理解を図ります。

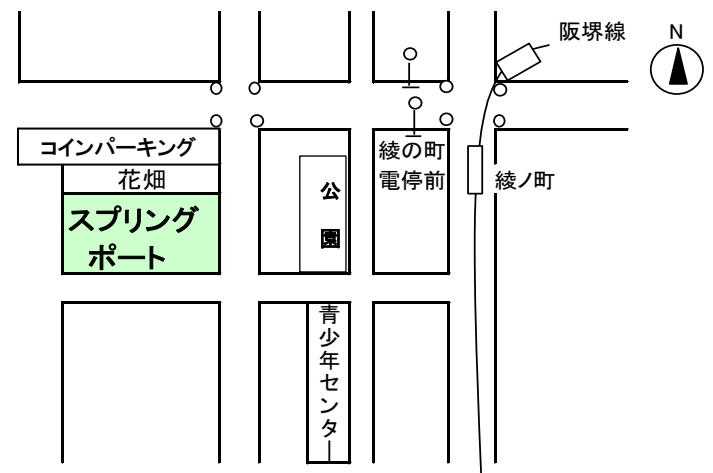
- (1) 保護者との個人懇談会
定期的に、また必要に応じて個人懇談会を行います。
- (2) 学校との連絡会
学校の先生方と定期的に個別の連絡会を行います。また、子どもの通室・登校情報を共有するため、随時相互に情報交換します。

7 入室手続きのながれ

※新規入室希望者は、「①入室希望」の前に見学をしていただきます。



8 適応指導教室スプリングポートの場所



■住所：堺市堺区錦之町西2丁2-34

■電話番号：(072) 232-5053

■FAX：(072) 232-5073

■Mail：tekiou-sp@sakai.ed.jp

■最寄りの駅

阪堺線 「綾ノ町」(200M)

南海バス 北回り、イオン鉄砲町・住之江公園行

「綾の町電停前」(150M)

南海本線 「七道」(650M)

平成31年度 適応指導教室ユアイルームのご案内

1 適応指導教室の趣旨

適応指導教室は、学校や集団生活に対する不安が強く、学校に行きたくても行けなくて悩んでいる子どもたちが、さまざまな活動をとおして元気を取り戻し、将来的に学校に復帰することや社会的に自立することを目的に指導・援助しています。

■「ユアイルーム」とは、お互いに認めあい、心のふれあいを大切にして友情と愛情を持って活動するという意味です。

2 入室対象者

市内在住で、不登校の状態にある、小学4年生から中学3年生までの、次の要件を満たしている児童生徒。

- (1) 児童生徒本人・保護者が入室を希望している。
- (2) 校長が入室を適当であると認めている。
- (3) 教育委員会が入室を適当であると承認している。

3 開室日と開室時間

原則として各学期の月曜日～金曜日の、午前9時30分～午後3時に開室しますが、個々の入室生の通室曜日や時間帯は、支援コースや個人の状況により個別に設定します。なお、何月に入室しても入室期間はその年度の3月までです。

4 活動内容

- (1) 学習タイム：自習を基本とし、学習習慣の形成や、学習意欲を高める指導・助言をします。
- (2) 活動タイム：スタッフや他の通室生とともに軽スポーツやコミュニケーション活動を行い、集団の中で活動する力、表現する力を高める指導・助言をします。

<具体例>
 スポーツ（卓球・ビリヤード・キャッチボール）、ゲーム（トランプ・ウノ・オセロ・ジグソーパズル）、創作（イラスト・手芸・折り紙・切り絵）、趣味（読書・楽器演奏）など

■行事：人、社会、自然と関わる体験活動をとおして学習意欲を高めるとともに、社会的自立を促します。（社会見学など）

5 2つの支援コース

適応指導教室は、入室相談・面談を通して子どもの状況を把握し、次の(1)または(2)の支援コースを決定します。コースは状況に応じて切りかえることがあります。

- (1) 個人支援Ⅰ・Ⅱ：スタッフとの個別の関わりを中心とし、他の通室生との関わりも図りながら力を高める。
- (2) グループ支援：他の通室生との関わりを中心とし、スタッフの支援を受けながら力を高める。

※新規入室生は、個人支援Ⅰからスタートします。

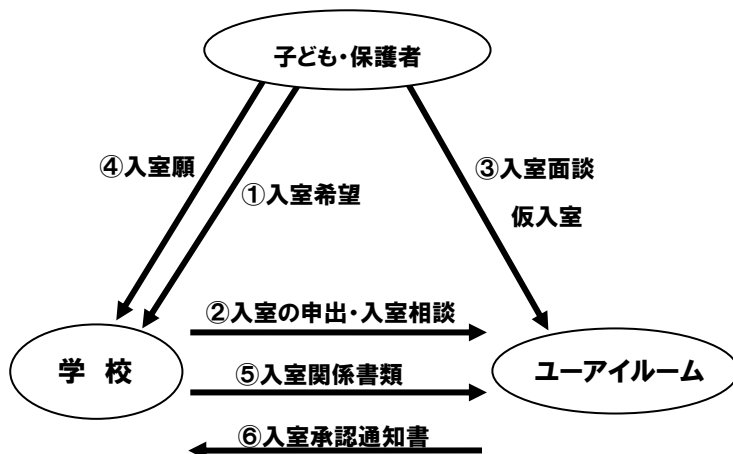
6 連携活動

保護者・学校と、学校復帰や社会的自立に向けた子どもへの関わり方について共通理解を図ります。

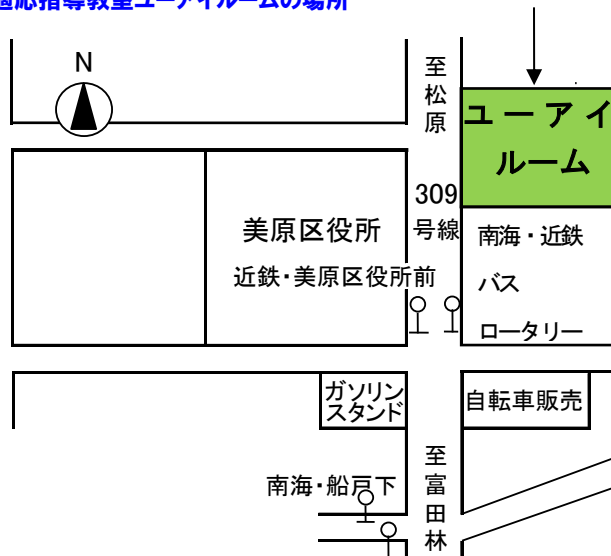
- (1) 保護者との個人懇談会
 定期的に、また必要に応じて個人懇談会を行います。
- (2) 学校との連絡会
 学校の先生方と定期的に個別の連絡会を行います。また、子どもの通室・登校情報を共有するため、随時相互に情報交換します。

7 入室手続きのながれ

※新規入室希望者は、「①入室希望」の前に見学をしていただきます。



8 適応指導教室ユアイルームの場所



- 住所：堺市美原区黒山167-9（美原区役所別館3階）
- 電話番号：(072) 362-2554
- FAX 番号：(072) 362-6501
- Mail：tekiou-yi@sakai.ed.jp
- 最寄りのバス停
 南海バス 「船戸下」(500M)
 「美原区役所前」(45M)
 近鉄バス 「美原区役所前」(70M)